

# 第57期 株主通信

2018年4月1日～2019年3月31日



おいしいものを手軽に  
提供できる技術を世界中に

**RHEON**<sup>®</sup>

レオン自動機株式会社  
RHEON AUTOMATIC MACHINERY CO., LTD.

証券コード 6272

# 世界の食文化に貢献する ビジョナリーカンパニーを目指して



株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループは、日本国内と世界125の国と地域への食品加工機械の提供を通じて、食のニーズにお応えするとともに、食文化の発展に貢献しております。

ここに第57期(2019年3月期)の営業の状況をご報告するとともに、今後の取り組みについてご説明させていただきます。ご一読のほど、お願い申し上げます。

代表取締役社長 田代康憲

**Q** 当期(2019年3月期)の事業環境および業績の概要をお聞かせください。

**A** お客様の省人化ニーズの高まりと、新工場設立に伴う大型受注が業績に寄与しました。

我が国の食品業界は、消費者ニーズの高度化と多様化、安全性や健康志向の増大、環境への配慮、人手不足と人件費の高騰、原材料価格の高騰など、数多くの問題を抱えております。

そうしたなか、当社市場であるベーカリー業界では、昨夏の猛暑の影響もあり、消費が伸び悩む傾向にありましたが、当社市場業界全般においては、「省人化・省力化」「食品(製品)のバリエーション化」「食品の安全・衛生」に向けた投資意欲が高く、食品

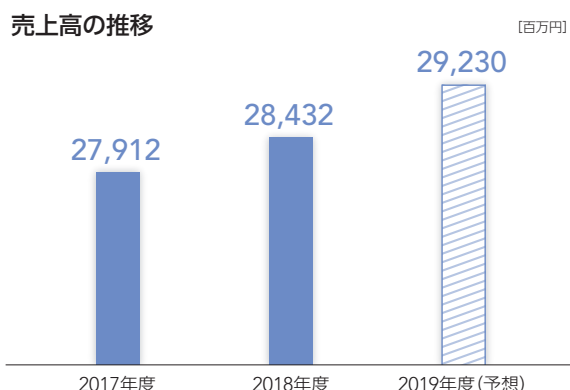
加工機械製造販売事業は、新工場の立ち上げによる大型の受注を獲得できたこともあり、業績への追い風となりました。しかし、食品製造販売事業の米国において、大手顧客への売上が減少したことにより、当期の連結業績は、増収減益となりました。

**Q** 当期は5カ年からなる中期経営計画の初年度でした。計画の概要と進捗をお聞かせください。

**A** 計画の進捗は順調であり、さらなる推進力強化を図るため経営企画室を新設しました。

計画では、「変革への挑戦」をテーマに「当社グループの次なるステップへの変革の時期」と位置づけ、安定した利益を確保しながらさらなる成長へ向けての挑戦を行ってまいります。そのために、「生産体制の強化」「販売体制の強化」「業務環境整備」「人材育成」の4つを重点施策に掲げ、各施策について具体的なアクションプランを展開しております。計画自体は順調に進んでいますが、さらなる推進力強化を図るべく、計画の進捗管理と戦略推進を担当する経営企画室を新設いたしました。経営企画室を中心に、当社グループ全体で戦略を共有し、部門の垣根にとらわれず経営資源等を活用し、アウトプットの最適化、最大化を図ってまいります。

売上高の推移



また、最も重要な経営資源である人材の育成についても、外部の知見を取り入れた将来の幹部候補の育成や、これまで以上に海外展開を進めていくためのグローバル人材の育成にも取り組んでおります。これらの人材の育成には相応の時間がかかりますが、焦ることなく、着実に育成・確保していきたいと考えています。

**Q** 来期の重点的な取り組みをお教えてください。

**A** 本社・研究室をソリューションセンターとして新築します。

これまでの提案型ビジネスを継続するとともに、さらに磨きをかけてお客様の課題解決に的確に当たってまいります。たとえば、食品の製造ラインは当社の機械だけで賅えるわけではありません。他社の機械との連携があって初めて、お客様のニーズにお応えできるわけです。他社の機械を含めた製造ライン全体のマネジメントを当社が担うことで、お客様の負担を軽減し、拡販につなげていきたいと考えています。

また、お客様の課題に寄り添い、小さな案件でも着実に受注を確保していくとともに、中国を中心としたポテンシャルの高いアジア市場へさらなる拡販をするため、これまで以上に注力してまいります。

すでにニュースリリースでお伝えしていますが、本社と研究室を兼ねた「レオン・ソリューションセンター」を、現本社敷地内に建設いたします。現在の社屋に40年以上経過して耐震基準に満たないものがあるため、新社屋により地震災害のリスクを回避いたします。また、来客テストや新しい食品開発、講習会などを実施するための研究室を充実させることで、顧客満足度の向上を図ります。今年の秋に着工し、来年の秋に竣工する予定です。

本センターは、先に述べたメリット以外にも、数棟に分かれている部署をワンフロア化することによる、情報共有とコミュニケーションの活性化、業務の効率化が期待できます。加えて、ペーパーレスによる文書管理、建物内のセキュリティ強化も進めてまいります。



**Q** 最後に、株主様へのメッセージをお願いします。

**A** 当期の配当は、期末14円とし、中間の14円と合わせて年間28円とさせていただきます。

当期末の配当は、連結配当性向30%を目標とする利益還元方針に基づき、1株当たり14円とさせていただきます。これにより1株当たりの年間配当金は、中間配当金14円と合わせて28円となります。今後も成長投資との配分を勘案しつつ、株主の皆様のご期待に沿えるよう利益還元を拡充させてまいります。

当社グループは、今後とも、永続的に優良であり続ける「世界の食文化に貢献するビジョナリーカンパニー」を目指し、チャレンジしてまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。



# 特集

## 「開発企業」としての取り組み

レオン自動機グループは、「存在理由のある企業たらん」という社是のもと、中期経営計画2018VISIONに取り組んでいます。

今回は「開発企業」であることを実践する、イノベーションへの取り組みなどをご紹介します。



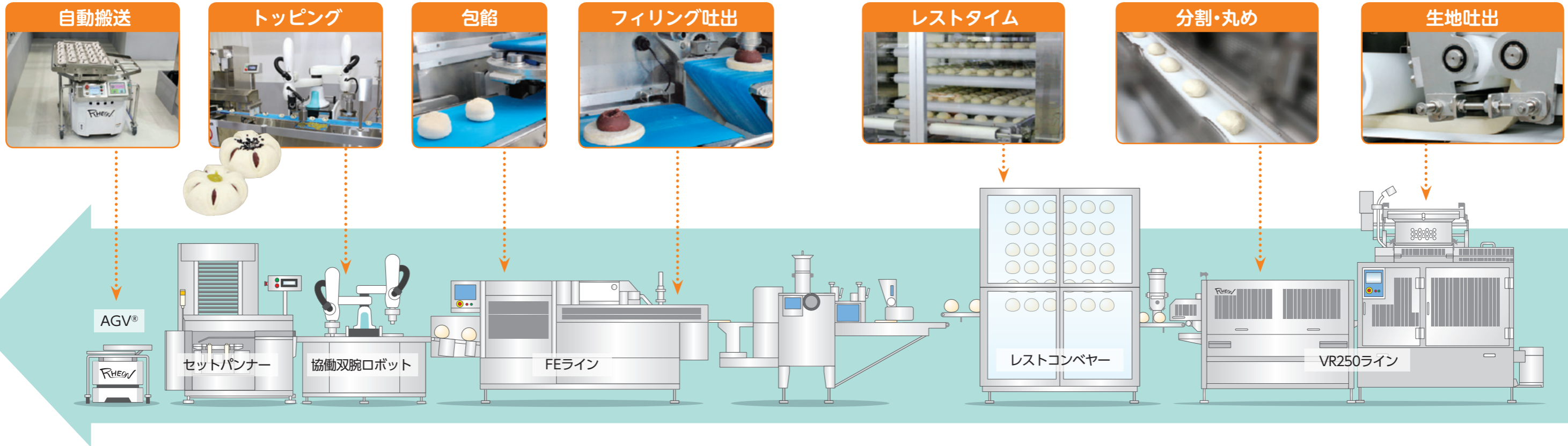
### Report

「省人化、省力化」「安定生産による生産効率のアップ」の2つをテーマに、当社の菓子パン生産ラインにロボットを組み合わせた、全ての生産工程を自動化するシステムです。少子高齢化による人手不足は食品生産の現場においても深刻な問題。「人手不足や働き方改革への対応」「食品の安全・安心の確保」といった食品の生産現場が直面する問題を解決するため、展示会等を通して、新しい食品生産システムの在り方を提案しております。



技術サービス部 副島 理沙

### その1 菓子パン生産のフルオートメーションシステム



### その2 「レオン・ソリューションセンター」建設へ

当社は2020年9月の完成を目指して本社機能だけではなく、イノベーションの起点となる「レオン・ソリューションセンター」の建設をスタートさせます。

災害対策などのリスク回避としてのリニューアルだけではなく、研究室や「来客テスト」「食品開発」「講演会」などができるスペースを備え、より一層お客様の課題解決に対応できる施設となります。



### 海外便り レオンUSA 東部事務所 リニューアル

このたびアメリカ東海岸の拠点であるニュージャージーオフィスを増床移転し、新しいオフィスとして2018年10月にオープンいたしました。

新オフィスは、広いラボを完備し、メイン機種を常設して、商品テストや講習会などをタイムリーに行うことを可能にいたしました。多くのお客様のご要望にお応えし、今後もサービス向上、顧客満足度向上に努めてまいります。



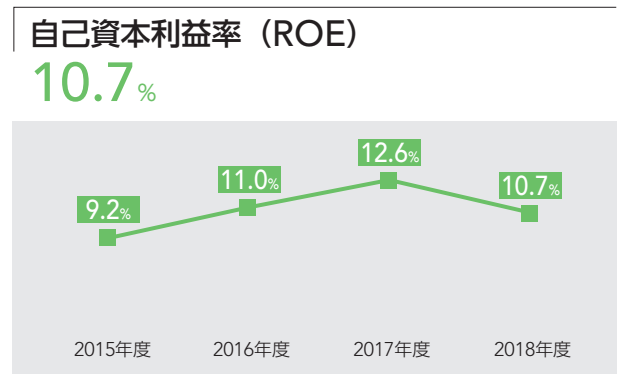
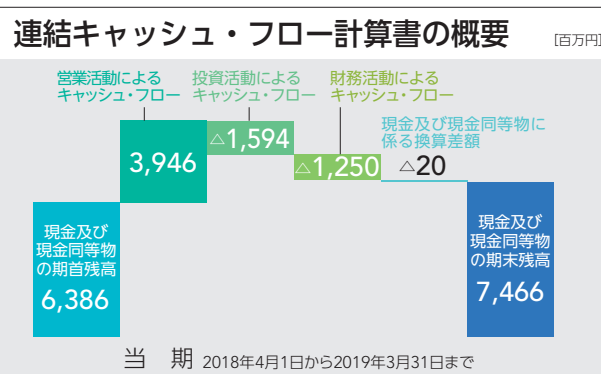
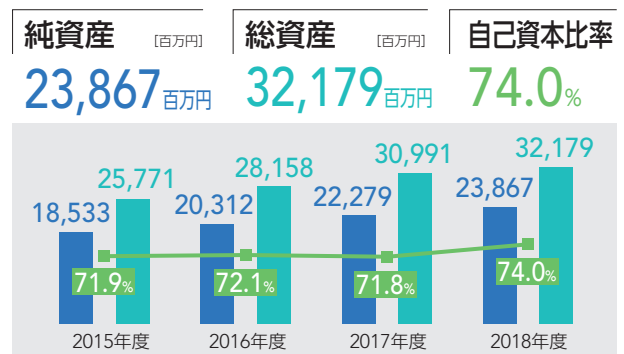
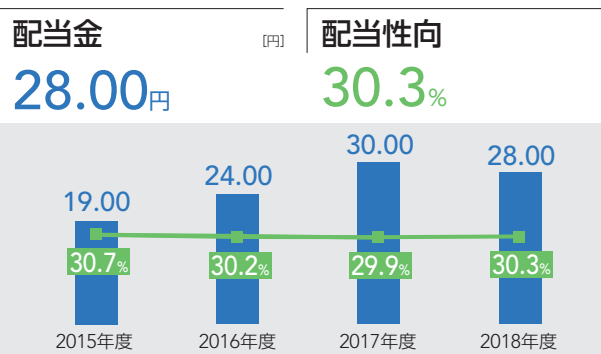
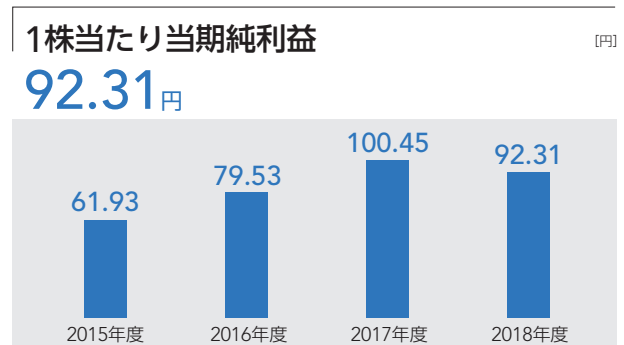
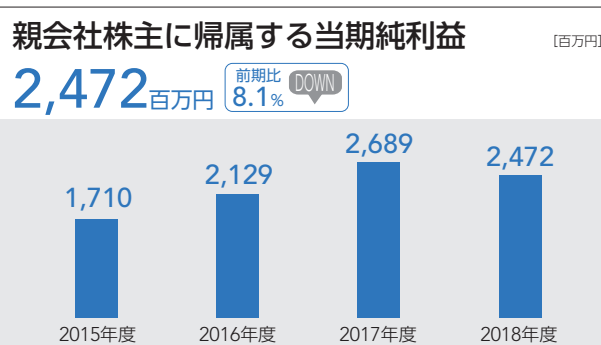
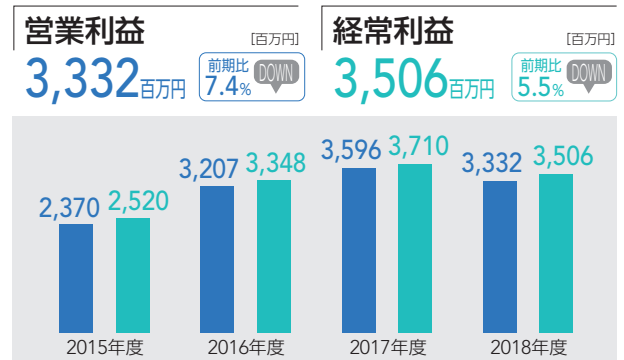
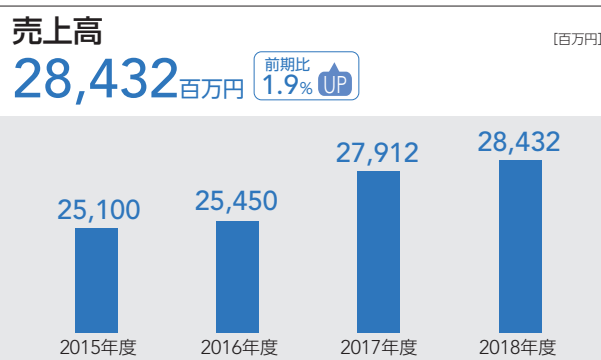
# 財務ハイライト

国内経済におきましては、個人消費の緩やかな回復、好調な製造業の能力増強投資、省力化投資の増加など、全体としては緩やかな回復基調で推移しました。

海外経済におきましては、欧米の経済が堅調に推移し、アジアでは中国でインフラ投資の減速や米中貿易摩擦の激化などにより減速しました。

当社グループが市場とする食品業界は、消費者ニーズの高度化、多様化に伴う商品のバラエティー化、人手不足を背景とした省人化・省力化などの課題を抱えております。また、食の安全性、健康志向の増大、環境問題など市場のニーズが多様化しております。

このような状況の下で、当連結会計年度における売上高は28,432百万円(前期比1.9%増)、営業利益は3,332百万円(前期比7.4%減)、経常利益は3,506百万円(前期比5.5%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は2,472百万円(前期比8.1%減)となりました。



セグメント別売上高および売上高の推移

食品加工機械製造販売事業

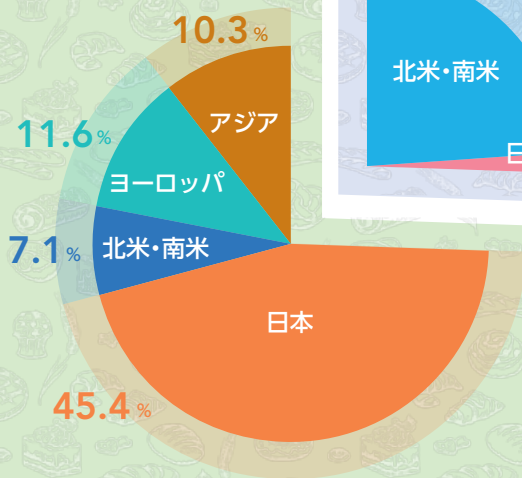
21,174百万円

前期比109.5%

構成比  
74.4%

POINT!

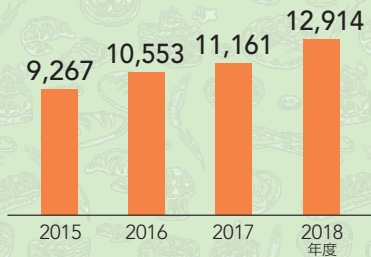
日本の製パンライン等で、省人化・省力化、品質アップ、バラエティー化、生産能力増強などに対応した大型ラインおよび小型のパン生地分割機等の販売が好調



日本

[百万円]

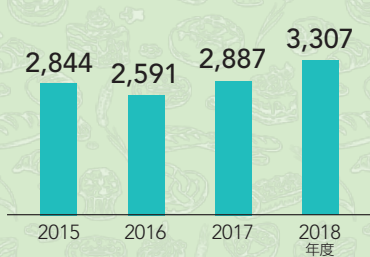
売上高 12,914百万円  
セグメント利益 3,662百万円



ヨーロッパ

[百万円]

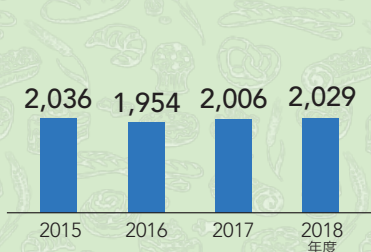
売上高 3,307百万円  
セグメント利益 99百万円



北米・南米

[百万円]

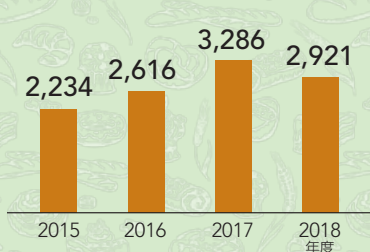
売上高 2,029百万円  
セグメント利益 102百万円



アジア

[百万円]

売上高 2,921百万円  
セグメント利益 1,166百万円



食品製造販売事業

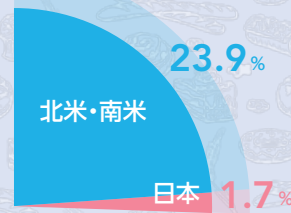
7,258百万円

前期比84.7%

構成比  
25.6%

POINT!

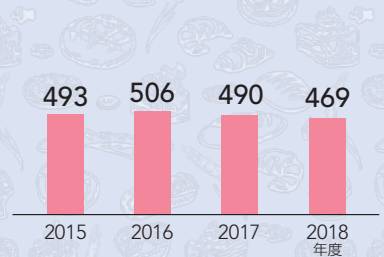
アメリカのオレンジベーカリーで、大手顧客への販売が減少



日本

[百万円]

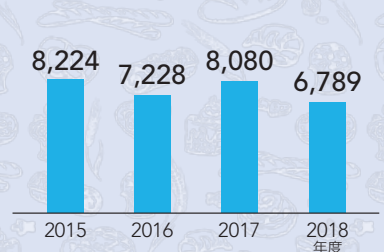
売上高 469百万円  
セグメント利益 55百万円



北米・南米

[百万円]

売上高 6,789百万円  
セグメント利益 41百万円



## 会社情報/株式情報

### ■ 会社概要 (2019年3月31日現在)

商号	レオン自動機株式会社 RHEON AUTOMATIC MACHINERY CO., LTD.
本社	栃木県宇都宮市野沢町2番地3
設立	1963(昭和38)年3月15日
資本金	7,351,750,000円
従業員	582名

### ■ 役員 (2019年6月26日現在)

代表取締役社長	田代 康 憲
取締役常務執行役員	小林 幹 央
取締役常務執行役員	小野口 和 良
取締役常務執行役員	金子 保
取締役常務執行役員	渡辺 正 彦
取締役常務執行役員	森戸 俊 充
取締役	根津 正 人
取締役	平原 興
常勤監査役	堀田 昭 次
監査役	平林 亮 子
監査役	横山 薫

- (注) 1. 取締役根津正人および取締役平原興は、社外取締役であります。  
2. 監査役平林亮子および監査役横山薫は、社外監査役であります。  
3. 取締役根津正人、取締役平原興および監査役平林亮子、監査役横山薫は、東京証券取引所の定める独立役員であります。

### ■ 事業所 (2019年4月1日現在)

上河内工場	宇都宮市中里町715番地1 (ISO9001認証取得)
東京営業所	港区東麻布1丁目12番5号
札幌出張所	札幌市白石区南郷通20丁目北1番37号
仙台出張所	仙台市泉区八乙女3丁目12番地の1
名古屋営業所	名古屋市名東区社台3丁目32番1号
大阪営業所	吹田市垂水町3丁目25番11号
岡山営業所	岡山市北区上中野2丁目12番18号
福岡営業所	福岡市博多区東那珂1丁目13番15号
台湾支店	台北市内湖区新湖一路118號5樓 台湾
上海駐在員事務所	中華人民共和国上海市長寧区虹橋路1438号 古北国際財富中心2期5階 503-30室

### ■ 関連会社 (2019年4月1日現在)

レオンUSA	2 Doppler, Irvine, CA 92618, U.S.A.
レオンヨーロッパ	Tiefenbroicher Weg 30,40472 Düsseldorf Germany
株式会社レオンアルミ	栃木県下野市下古山2963番地
オレンジベーカーリー	17751 Cowan Avenue, Irvine, CA 92614, U.S.A.
有限会社ホシノ 天然酵母パン種	東京都町田市小野路町2278番地3

## レオン自動機株式会社

RHEON AUTOMATIC MACHINERY CO., LTD.

〒320-0071 栃木県宇都宮市野沢町2番地3

TEL.028-665-1111

<https://www.rheon.com/>

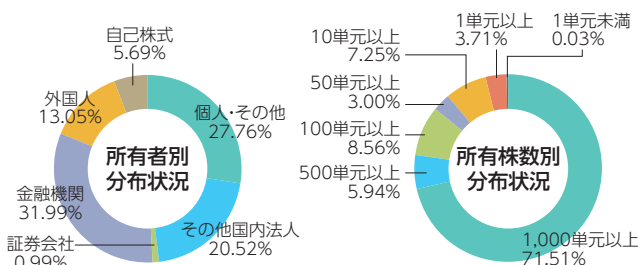
### ■ 株式の状況 (2019年3月31日現在)

発行可能株式総数	42,800,000株
発行済株式総数	28,392,000株
株主数	6,789名

### ■ 大株主 (2019年3月31日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
公益財団法人レオロジー記念財団	3,030	11.3
ラム商事株式会社	1,703	6.4
レオン自動機取引先持株会	1,544	5.8
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,315	4.9
株式会社足利銀行	1,260	4.7
JPMC OPPENHEIMER JASDEC LENDING ACCOUNT	1,000	3.7
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	969	3.6
レオン自動機従業員持株会	815	3.0
株式会社栃木銀行	680	2.5
株式会社みずほ銀行	500	1.9

※ 自己株式1,614,171株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。



### ■ 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 Tel. 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

#### 【お知らせ】

##### 1. ご注意

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
  - 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
  - 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。
2. 配当金計算書について  
配当金の口座振込をご指定の方と同様に、「配当金領収証」により配当金をお受取になれる株主様宛にも「配当金計算書」を同封いたしております。配当金をお受取になった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。

### ■ 表紙の写真: マウントレーニア国立公園 (アメリカ・ワシントン州)



PROJECT-  
With the Earth  
この冊子の印刷・製本に係るCO2は  
PROJECT- With the Earth を  
通じてオフセット(相殺)しています。

